

日本農林規格の制定・見直しの基準の一部改正新旧対照表

改正案	現行
<p data-bbox="412 288 772 312">日本農林規格の制定・見直しの基準</p> <p data-bbox="853 357 1099 416">平成30年6月1日 日本農林規格調査会決定</p> <p data-bbox="76 464 1099 560">この基準は、<u>日本農林規格等に関する法律</u>（昭和25年法律第175号。以下「<u>JAS法</u>」という。）の規定により、本調査会が日本農林規格（以下「<u>JAS</u>」という。）の制定、確認、改正又は廃止について審議する際のガイドラインであり、本調査会がその内部規程として定めるものである。</p> <p data-bbox="76 603 1088 699">農林水産大臣が本調査会に<u>JAS</u>の制定、確認、改正又は廃止の付議を行った場合において、本調査会は、以下の基準により、付議された<u>JAS</u>の制定、確認、改正又は廃止の案（以下「<u>JAS案</u>」という。）の妥当性を判断するものとする。</p> <p data-bbox="76 742 327 766">1 <u>JAS</u>の制定の基準</p> <p data-bbox="98 778 1088 837"><u>JAS</u>の制定に当たっては、<u>JAS案</u>が以下のいずれにも該当していることをもって、その妥当性を判断するものとする。</p> <p data-bbox="98 850 226 874">(1) (略)</p> <p data-bbox="98 1023 786 1046">(2) 次のいずれにも該当すること。（<u>JAS</u>として欠点がないこと）</p> <p data-bbox="98 1059 248 1083">ア～ウ (略)</p> <p data-bbox="98 1198 943 1222">エ <u>JAS案</u>の内容と既存の<u>JAS</u>の内容との間で著しい重複又は矛盾がないこと。</p> <p data-bbox="98 1235 1088 1294">オ <u>JAS案</u>の内容と同等の国際規格が存在する場合又はその策定が見込まれる場合であって、当該国際規格等との整合化について、適切な考慮が行われていること。</p> <p data-bbox="98 1307 1088 1366">カ 対応する国際規格が存在しない場合、当該<u>JAS</u>の制定が輸出入に及ぼす影響について、適切な考慮が行われていること。</p> <p data-bbox="98 1378 1088 1437">キ <u>JAS案</u>中に特許権等を含む場合であって、特許権者等による非差別的かつ合理的条件での実施許諾を得られると見込まれること。</p>	<p data-bbox="1451 288 1812 312">日本農林規格の制定・見直しの基準</p> <p data-bbox="1890 357 2136 416">平成29年7月6日 農林物資規格調査会決定</p> <p data-bbox="1122 464 2136 560">この基準は、<u>農林物資の規格化等に関する法律</u>（昭和25年法律第175号。以下「<u>JAS法</u>」という。）の規定により、本調査会が日本農林規格（以下「<u>JAS規格</u>」という。）の制定、確認、改正又は廃止について審議する際のガイドラインであり、本調査会がその内部規程として定めるものである。</p> <p data-bbox="1122 603 2136 699">農林水産大臣が本調査会に<u>JAS規格</u>の制定、確認、改正又は廃止の付議を行った場合において、本調査会は、以下の基準により、付議された<u>JAS規格</u>の制定、確認、改正又は廃止の案（以下「<u>JAS規格案</u>」という。）の妥当性を判断するものとする。</p> <p data-bbox="1122 742 1417 766">1 <u>JAS規格</u>の制定の基準</p> <p data-bbox="1144 778 2136 837"><u>JAS規格</u>の制定に当たっては、<u>JAS規格案</u>が以下のいずれにも該当していることをもって、その妥当性を判断するものとする。</p> <p data-bbox="1122 850 1895 874">(1) 次のいずれかに該当すること。（<u>JAS法</u>の目的に適合していること）</p> <p data-bbox="1144 887 1939 1015">ア 農林物資の品質の改善が図られること。 イ 農林物資の生産、販売その他の取扱いの合理化及び高度化が図られること。 ウ 農林物資に関する取引の円滑化が図られること。 エ 農林物資に関する一般消費者の合理的な選択の機会の拡大が図られること。</p> <p data-bbox="1122 1023 1872 1046">(2) 次のいずれにも該当すること。（<u>JAS規格</u>として欠点がないこと）</p> <p data-bbox="1144 1059 2136 1187">ア 特定者間のみで生産又は取引されることが想定されるものに係るものでないこと。 イ 需要構造の変化等によってその利用が著しく縮小していないこと。 ウ 規格化すべき内容及び目的に照らし、必要十分な規定内容を含んでいること。また、その規定内容が現在の知見から見て妥当な水準となっていること。</p> <p data-bbox="1144 1198 2074 1222">エ <u>JAS規格案</u>の内容と既存の<u>JAS規格</u>の内容との間で著しい重複又は矛盾がないこと。</p> <p data-bbox="1144 1235 2136 1294">オ <u>JAS規格案</u>の内容と同等の国際規格が存在する場合又はその策定が見込まれる場合であって、当該国際規格等との整合化について、適切な考慮が行われていること。</p> <p data-bbox="1144 1307 2136 1366">カ 対応する国際規格が存在しない場合、当該<u>JAS規格</u>の制定が輸出入に及ぼす影響について、適切な考慮が行われていること。</p> <p data-bbox="1144 1378 2136 1437">キ <u>JAS規格案</u>中に特許権等を含む場合であって、特許権者等による非差別的かつ合理的条件での実施許諾を得られると見込まれること。</p>

ク JAS案が海外規格その他他者の著作物を基礎としたものである場合、その著作権に関する著作権者との調整が行われていること。

ケ JAS案について、利害関係者等との意見調整が図られていること。

コ・サ (略)

2 JASの見直しの基準

(1) JASの改正の基準

JASの改正に当たっては、1の基準により、その妥当性を判断するものとする。

また、当該基準に適合しなくなるおそれのあるJASについては、当該基準に適合するよう改正を行うものとする。

(2) JASの廃止の基準

1の基準に適合しなくなったJASであって、改正が困難であるもの又はJAS法の規定に基づく申出により制定又は改正されたJASであって、申出者による適正な維持管理が行われていないものについては、廃止を検討するものとする。

(3) JASの確認の基準

改正又は廃止を行わないJASについては、確認するものとする。

ク JAS規格案が海外規格その他他者の著作物を基礎としたものである場合、その著作権に関する著作権者との調整が行われていること。

ケ JAS規格案について、利害関係者等との意見調整が図られていること。

コ 強制法規技術基準・公共調達基準との関係について、適切な考慮が行われていること。

サ 農林水産政策の目的に合致していると認められること。

2 JAS規格の見直しの基準

(1) JAS規格の改正の基準

JAS規格の改正に当たっては、1の基準により、その妥当性を判断するものとする。

また、当該基準に適合しなくなるおそれのあるJAS規格については、当該基準に適合するよう改正を行うものとする。

(2) JAS規格の廃止の基準

1の基準に適合しなくなったJAS規格であって、改正が困難であるもの又はJAS法の規定に基づく申出により制定又は改正されたJAS規格であって、申出者による適正な維持管理が行われていないものについては、廃止を検討するものとする。

(3) JAS規格の確認の基準

改正又は廃止を行わないJAS規格については、確認するものとする。